

授業科目 社会福祉文化論Ⅰ

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>
福祉文化の概念・意義を明らかにし、福祉文化創造活動の担い手としてのソーシャルワーカーの役割を検討する。

<学習目標>
1. 文化の概念と研究方法を理解する。
2. ソーシャルワーカー自身の文化について理解する。
3. 日本の福祉文化創造活動の担い手としてのソーシャルワーカーの役割を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	S80	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーションー授業計画の説明		講義 (受講者が少なければ、討論のセッションを設ける)
2	I. 社会福祉思想と社会福祉文化との関係		
3	1. 思想と文化との関係		
4	2. 日本思想史と日本文化史との関係		
5	3. 日本における福祉思想と福祉文化との関係		
6	II. ソーシャルワーカーの文化		
7	1. 「ソーシャルワーカーの文化」の理論		
8	2. ソーシャルワーカーの国際比較		
9	3. ソーシャルワーカーの条件ー学問的基盤・倫理・専門職団体		
10	III. 福祉社会と福祉文化		
11	1. 福祉社会の構成要素		
12	2. 地域福祉と地域福祉文化		
13	3. 患者・障害者と福祉文化		
14	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	岩田正美他編『社会福祉の原理と思想』有斐閣、2003年、2,100円			
参考書	随時、紹介する。			
その他の資料	授業中に配布する。			

【評価方法】 1. 毎時間のミニ・レポート 2. 学期末のレポート	【履修上の留意点】 1. 学習意欲を持って、毎時間出席すること。 2. 積極的に質問・意見を表明すること。
---	---

社会福祉学科 専門